平成25年度第2回石狩市国民健康保険運営協議会・議事録（要旨）

日 時 平成26年 2月20日（木）
午後7時00分～7時30分
場 所 石狩市役所5階 第2委員会室

会 議 次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題
(1) 石狩市国民健康保険税条例の一部改正について（報告）
(2) 平成26年度石狩市国民健康保険事業特別会計予算（案）の概要について（報告）
- 4 その他
- 5 閉 会

出席者（7名）

会 長	内 田 博	副会長	辻 義 和
委 員	奥 山 勲 司	委 員	寺 尾 桂 子
委 員	我 妻 浩 治	委 員	清 水 康 博
委 員	小野寺 健 一		

欠席者（2名）

委 員	林 篤 子	委 員	江 頭 裕 二
-----	-------	-----	---------

事務局（6名）

健康推進室長	大 林 啓 二	国民健康保険課長	新 岡 研一郎
国保担当主査	近 藤 和 磨	国保担当主査	蛭 田 茂 久
国保担当主査	富 木 則 善	国保担当主査	松 木 有 紀

傍聴者 なし

《平成25年度第2回石狩市国民健康保険運営協議会》

開 会（19：00）

○事務局（新岡課長）

本日は、大変お忙しい中、ご出席をいただき、ありがとうございます。ただいまから「平成25年度第2回石狩市国民健康保険運営協議会」を開催いたします。

議事に入ります前に、委員の交代についてご報告申し上げます。公益を代表する委員として、石狩市民生委員児童委員連合協議会からご推薦を頂いておりました鷺尾委員におかれましては、平成25年11月30日をもちまして民生委員児童委員を退任されましたことから、後任としてご推薦を頂いた奥山勲司様が1月1日より就任されております。

奥山委員におかれましては、就任後初めての運営協議会でございますことから、恐れ入りますが、自己紹介をお願いしたいと思います。

○奥山委員

～自己紹介～

○事務局（新岡課長）

ありがとうございました。

はじめに、本日の出席状況でございます。石狩市国民健康保険条例第2条に規定する委員の過半数が出席されており、石狩市国民健康保険運営協議会規則第5条第2項の規定に基づき、会議の開催要件を満たしておりますことを、ご報告申し上げます。

それでは、今後の議事進行を会長にお願い致します。

○会長

本日は、「石狩市国民健康保険税条例の一部改正」、「平成26年度石狩市国民健康保険事業特別会計予算（案）の概要」という2件につきまして、報告を受けたいと思います。委員の皆様におかれましては、宜しくご協力をお願いいたします。

それでは、議事に入ります。はじめに、会議次第「3. 議題」の「（1）石狩市国民健康保険税条例の一部改正」につきまして、事務局から報告願います。

○事務局（蛭田主査）

～「石狩市国民健康保険税条例の一部改正について」報告～

○会長

ただいまの報告について、ご質問等はございますか。

○辻委員

簡単に言うと、どういうことですか。

○事務局（蛭田主査）

今まで行政手続条例の中に、理由提示や不利益処分の理由提示については、行政手続条例の適用を受けなくてもよいということでしたが、それを理由提示しなければいけませんよというものを規定したということになります。ただ、実務上は、賦課に関しては理由提示をしておりますので、実務的にはあまり影響はないという部分ではあります。

○会長

震災に係る被災居住用財産の敷地に関する云々は、比較的わかりやすいですね。配当所得については、実務的には該当者が実際に賦課される場合に、こうなったという事を伝えられた時に不服があったら相談する、何かあった時に次はこうですという事をケースバイケースで説明しなければわからないという事でよろしいですか。実はものすごく複雑で、いろいろな場合が出てくる話ですよ。山林所得のところは、石狩市の場合には関係のあるかもしれない人はあまりいないと思いますというくらいのことでしょうか。

よろしいですか。では、「（1）石狩市国民健康保険税条例の一部改正」についての報告と質疑を終わります。次に、「（2）平成26年度石狩市国民健康保険事業特別会計予算（案）の概要」につきまして、事務

局から報告願います。

○事務局（大林室長）

はじめに、平成26年度予算案の概要を説明させていただく前に、私から、国における最近の国民健康保険制度をめぐる情勢について申し上げたいと存じます。

国民健康保険は、国民皆保険制度の最後の砦として市民の医療の確保と健康の増進に大きな役割を担っておりますが、今日の国保財政は、制度の構造的問題を抱え、ますます脆弱化する中で、その抜本的な改革が強く求められてきたところであります。

こうした中、昨年12月には「社会保障制度改革国民会議」の審議の結果を踏まえ、平成29年度を目途とする国保財政運営の都道府県移行を含めた「社会保障制度改革プログラム法案」が成立し、本年1月末からは、国と地方の協議が始まり、平成27年の通常国会への改正法案の提出をめざしていくことが確認されております。

この国保の都道府県化は、市町村国保にとって積年の課題である「医療保険制度の一本化」への第一ステージとして大いに期待をしている一方、本市にとりましては、かつて平成19年度末に12億円を超えた累積赤字が、平成24年度末で約5億8千万円と半減したものの、なおも多額の累積赤字を抱えている現実を直視しますと、その累積赤字の解消を含めた国保財政の健全化は、喫緊の課題であり、必須の取り組みであると認識をしているところであります。

このような厳しい国保財政の現状を踏まえ、平成26年度予算案につきましては、平成22年度にスタートいたしました「国保経営健全化計画」の着実な実行を基本とし、保険税収納対策、医療費適正化の更なる推進はもとより、その都道府県移行を見据えた、累積赤字の段階的解消に向けて引き続き一般会計から赤字補填分1億3千万円の繰入れが措置されたところであります。

また、「第二期特定健康診査等実施計画」に基づき、新たに特定健診の対象となる40歳の方を対象に、個別のがん検診などと組み合わせた検診プランを勧奨する「健診コーディネート40事業」など、受診しやすい環境づくりを一層推進して参りたいと存じます。

それでは、予算案の概要につきまして近藤主査よりご説明を申し上げます。

○事務局（近藤主査）

～「平成26年度石狩市国民健康保険事業特別会計予算（案）の概要について」報告～

○会長

ただいまの報告について、ご質問等はございますか。協議会としては、これに関して権限としては、方向性がどうなのかという確認ぐらいで、細かい数字に関しては、多分議会の話になるので、基本的な方向性に関して何か質問があれば、これを見たところ、従来どおりかなという感じはしているのですが。

○清水委員

4月から消費税が3%アップし、郵便料金なども上がりますが、その分は加味されているのですか。

○事務局（近藤主査）

消費税は8パーセントとして算定しています。

○会長

よろしいですか。他に無ければ、「(2)平成26年度石狩市国民健康保険事業特別会計予算（案）の概要」についての報告と質疑を終わります。

そのほかに、事務局から何かございますか。

○事務局（新岡課長）

特にございません。

○内田会長

無ければ、これにて平成25年度第2回石狩市国民健康保険運営協議会を閉会いたします。

皆様、ありがとうございました。

閉 会（19：30）

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するためここに署名する。

平成26年 3月 6日

会 長 内 田 博

- 石狩市国民健康保険運営協議会の議事録作成について
「市民の声を活かす条例」に基づく「審議会等のガイドライン（平成18年5月24日制定）
〈現在、「市民参加手続運用マニュアル2008（H20.7月）」の「審議会マニュアル〉」
の運用について、平成18年度第1回石狩市国民健康保険運営協議会において運営協議会
議事録作成ルールを確認している。

(内容) 議事録作成については、諮問案件がある場合について議事録作成するものとし、
それ以外については要点筆記により協議内容を作成する。